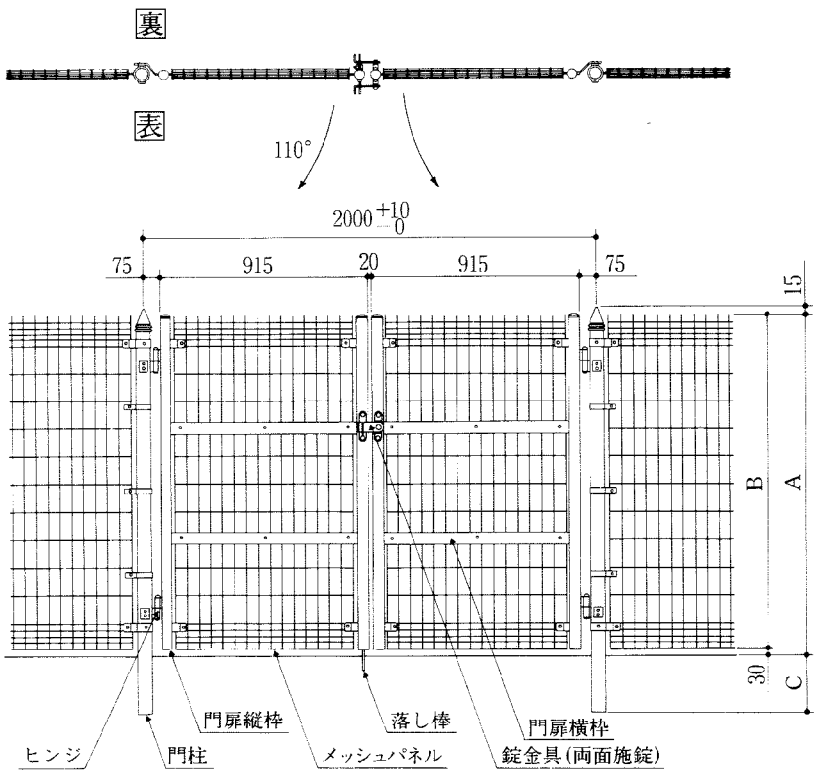
新日軽 メッシュ門扉P型取付説明書

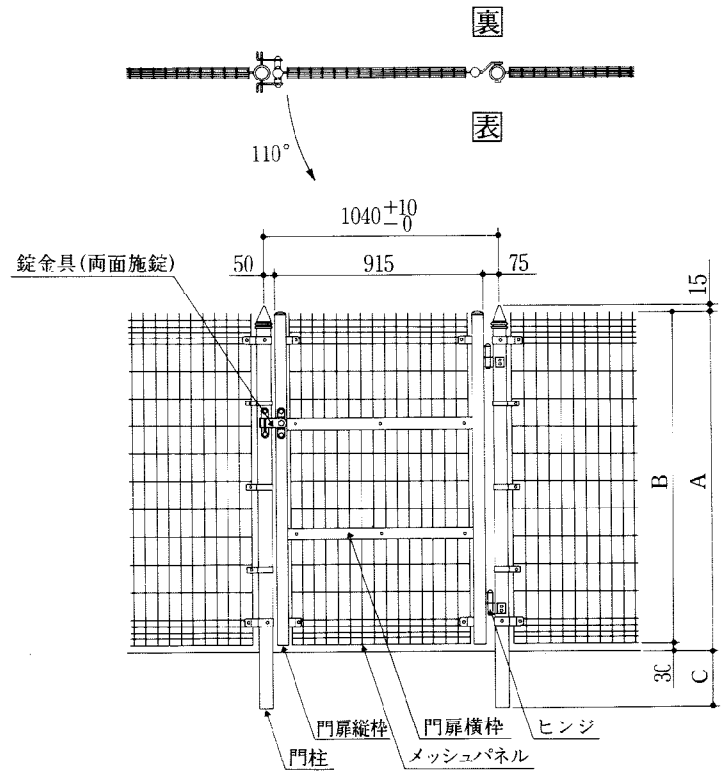
取説番号 ME-225

≪施 工 図≫



■ 表開き，落し棒が裏の時

(注) 標準門柱間隔は2000㎜です。
門柱間隔は2000㎜以上2010㎜以下
となるよう施工して下さい。

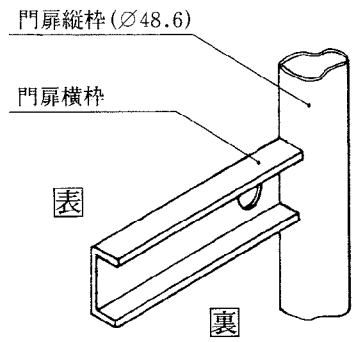


■ 表開き，吊元が右の時

(注) 標準門柱間隔は1040 ㎜です。
門柱間隔は1040㎜以上1050㎜以下
となるよう施工して下さい。

〈表1〉 〈㎜〉

品 番	A	B	C
H= 800	800	770	250
H=1000	1000	970	250
H=1200	1200	1170	250
H=1500	1500	1470	300
H=1800	1800	1770	350



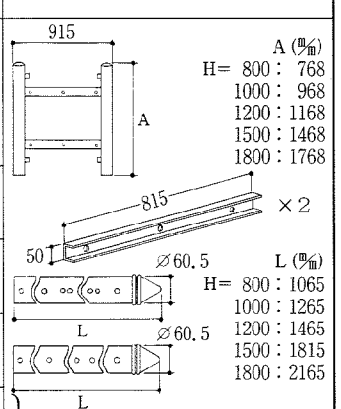
●門扉本体の表・裏は、左図に示す通りです。したがいまして、横枠押えを取付ける側(《施工手順》項目2参照)が門扉の裏となります。

●回転錠・落し棒・メッシュパネルは門扉本体に、ヒンジは門柱にビス止めとなっています。取付けの向きを変えることにより門扉の開き勝手を現場で決めることができます。

≪お調べください≫

■ 部材明細表

部材名	数量 両開	数量 片開	形状
門扉本体(右又は左)	2(左右各1)	1(右又は左)	A(㎜) H= 800: 768 / 1000: 968 / 1200: 1168 / 1500: 1468 / 1800: 1768
横枠押え	2	1	×2
吊元柱	2	1	L(㎜) H= 800: 1065 / 1000: 1265 / 1200: 1465 / 1500: 1815 / 1800: 2165
戸当り柱	−	1	
門扉部品セット	2	1	セット明細を参照にしてください。
門扉両開ヒンジセット	1	−	
門扉片開ヒンジセット	−	1	



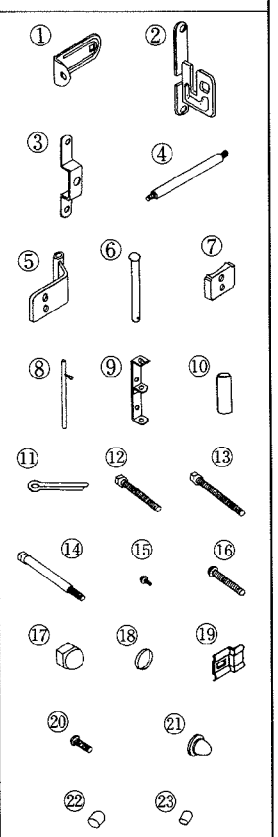
	色 保護キャップ	色 メクラキャップ
ホワイト用	ホワイト	白
グリーン用	グリーン	黒
ブラウン用	ブラウン	黒

●メッシュパネルは、P型本体パネルを切断してご使用下さい。
●門扉本体には、左右があります。
●門扉本体、横枠押え、吊元柱、戸当り柱、門扉部品セットにはホワイト用、グリーン用、ブラウン用があります。
(注) 門扉部品セットに含まれている保護キャップ及びメクラキャップの色は、右上表の通りとなっています。
●門扉両開ヒンジセット、門扉片開ヒンジセットは全色共通です。

■ 門扉部品，ヒンジセット明細表

		部品名	数量 両開	数量 片開
門扉両開(片開)ヒンジセット	①	掛金具	2	2
	②	受金具	2	2
	③	軸受金具	2	2
	④	スピンドル	1	1
	⑤	ヒンジ	4	2
	⑥	ヒンジ芯棒	4	2
	⑦	ヒンジ用座金	8	4
	⑧	落し棒	1	−
	⑨	落し棒受金具	1	−
	⑩	落し棒受けパイプ	1	−
	⑪	割りピン	4	2
	⑫	M8×65取付ボルト(袋N_1, W_2, SW_1付き)	6組	2組
	⑬	M8×80取付ボルト(袋N_1, W_2, SW_1付き)	−	2組
	⑭	M10×100取付ボルト(N_1, W_2, SW_1付き)	8組	4組
	⑮	M4×8ナベビス	1	−
	⑯	M8×50ナベビス(飾りN_1, 小形丸W_2, SW_1付き)	12組	6組
	⑰	M10六角袋ナット(W_1, SW_1付き)	2組	2組
	⑱	12(小形丸)座金	4	2
門扉部品セット	⑲	押え金具	8	4
	⑳	M8×20角根ボルト(飾りN_1, 小形丸W_1付き)	8組	4組
	㉑	∅10用メクラキャップ	24	12
	㉒	保護キャップ(内径∅5.5)	26	13
	㉓	保護キャップ(内径∅4.5)	24	12

形状



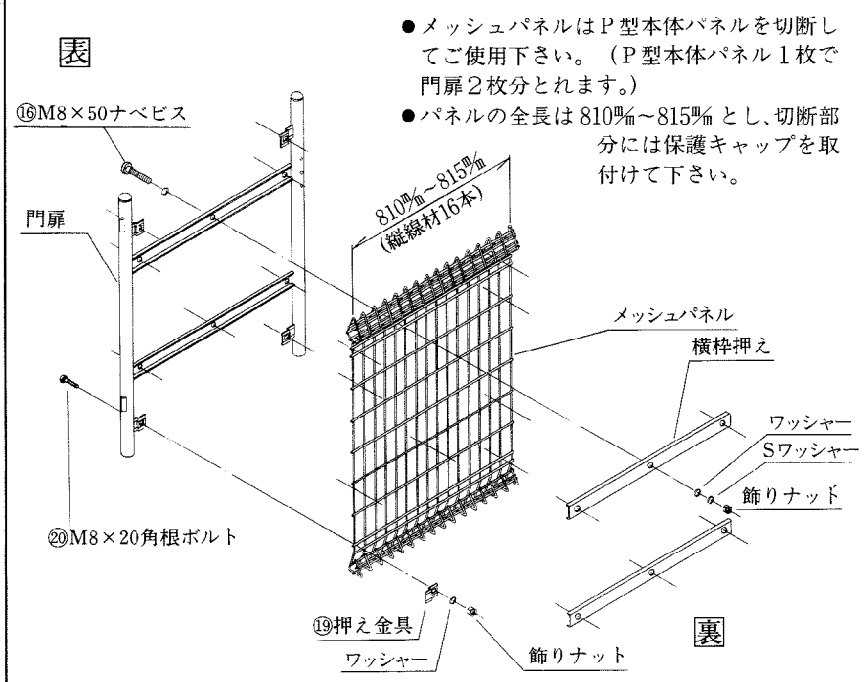
《施工手順》

1. 門柱の建込み

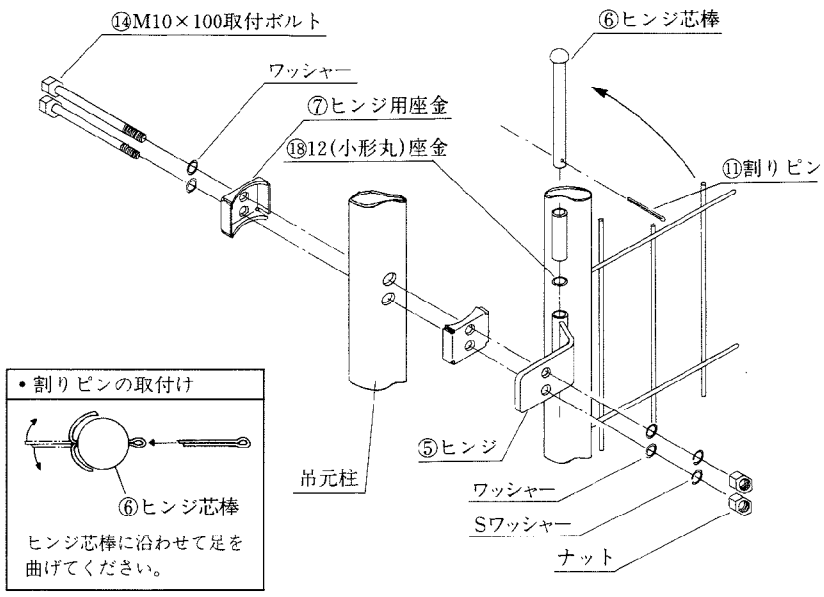
- 両開は門柱芯々2000㎜、片開は門柱芯々1040㎜です。
- 門柱の埋込み深さは、門扉サイズによって異なります。(表１を参照して下さい。)
- 門柱は左右兼用です。穴のあいている方向を表、裏の向きに合わせて下さい。
- 門柱にメッシュフェンスＰ型を取付けることができます。(取付け方は、「メッシュフェンスＰ型取付説明書」を御参照下さい。)
- 門柱にメッシュフェンスＰ型を取付けない場合は、金具を取付けない穴に、メクラキャップ(門柱１本当り４ヶ所)をはめ込んで下さい。

2. 門扉本体へのメッシュパネルの取付け

- メッシュパネルはＰ型本体パネルを切断してご使用下さい。（Ｐ型本体パネル１枚で門扉２枚分とれます。)
- パネルの全長は810㎜～815㎜とし、切断部分には保護キャップを取付けて下さい。



3. ヒンジの取付け

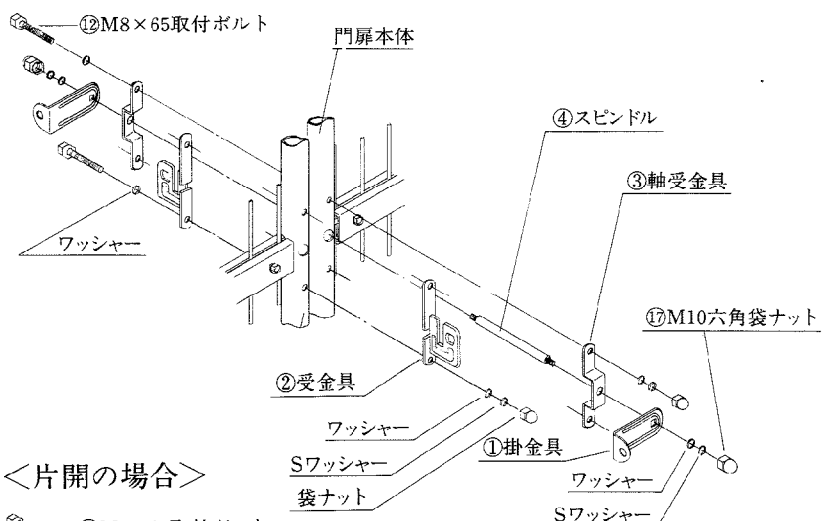


- ヒンジ芯棒の抜け防止のため、ヒンジ芯棒を挿入した後に割りピンを取付けて下さい。

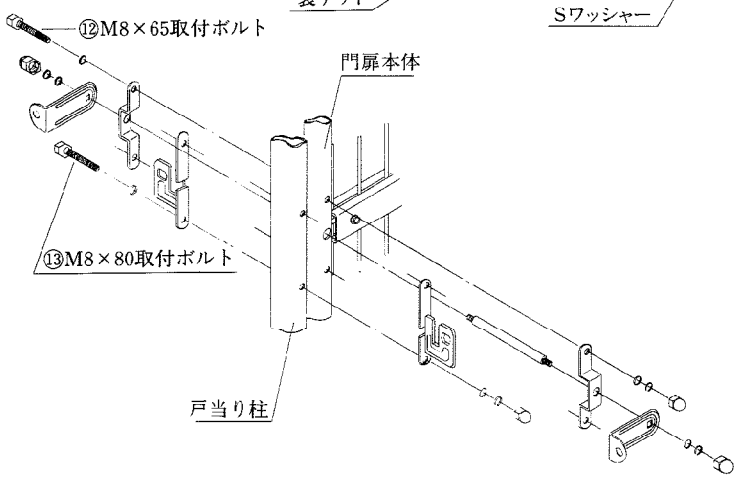
4. 回転錠の取付け

- 回転錠は、両面施錠できます。

＜両開の場合＞

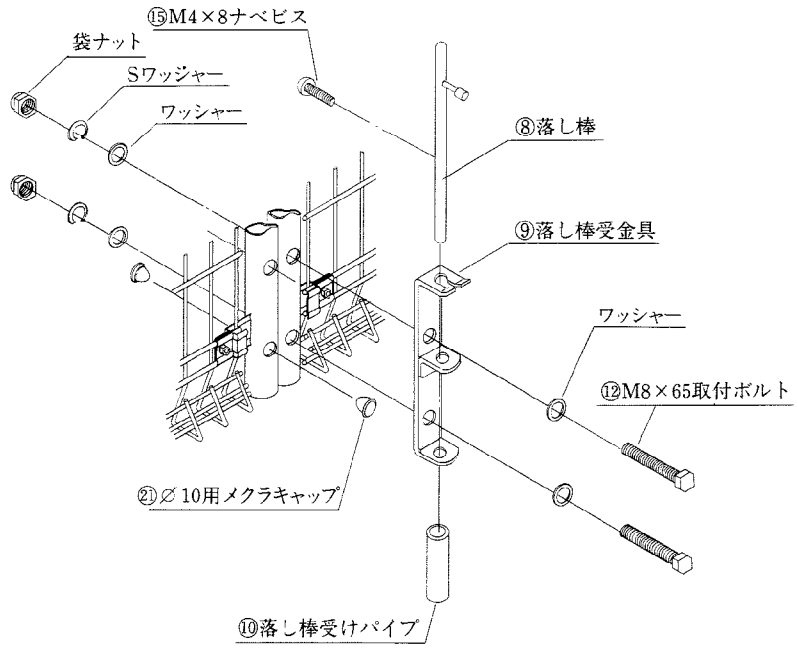


＜片開の場合＞



5. 落し棒の取付け

(注) 片開の場合には落し棒はありません。落し棒受金具の取付け穴には、メクラキャップをはめ込んで下さい。



- 落し棒の抜け防止のため、落し棒を挿入した後にナベビスを取付けて下さい。
- 落し棒を取付けない門扉本体の穴には、メクラキャップ(計４ヶ所)を取付けて下さい。
- 落し棒の取付けが終りましたら、落し棒の位置に合わせて受パイプを埋め込んで下さい。

≪確認して下さい≫

- ボルト・ナットの締め付けを点検して下さい。
- 施工上の汚れ、モルタルの付着があればきれいに拭き取って下さい。

新日軽株式会社